

事業番号	04 08 01	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	高等教育振興費			担当課	部局	県民文化部	
					課・局・室	私学・高等教育課	
総合5か年計画	プロジェクト	8-5-1 教育再生プロジェクト(高等教育全体の振興)			E-mail	shigaku-koto@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 2 信州に根ざした世界に通じる人材の育成			実施期間	H26 ~	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	4-1 信州創生を担う人材の確保・育成					
	施策展開	2-(3) 知の集積と教育の充実 ア 魅力ある高等教育の充実 (7) 県内大学等の魅力向上 (4) 産学官連携による県内大学の教育・研究の充実と県内就職率の向上					

1 事業の概要

目指す姿	産学官連携により県内大学の教育・研究の充実を支援し、その魅力を発信する。また、地域と密着した課題解決型の学びを推進するとともに、インターンシップへの参加を支援することなどにより、次代を担う人材の育成と県内就職率の向上にも取り組む。		
現状(予算編成時)	県内私立大学の公立化、学部の新設などの動きが活発化している中、既存大学・短大等への支援を含め高等教育振興施策の充実が急務である。また、地方創生の観点からも県内高等教育機関への入学者と、県内就職者の拡大を通じた人材定着を推進する必要がある。		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】	
	県民との協働による実施: 実施中	「しあわせ信州創造プラン」及び「総合戦略」の基本方針として、「『人』と『知』の基盤づくり」、「信州創生を担う人材の確保・育成」を掲げており、「県内高等教育の充実による知の拠点づくり」が必要とされている。	

成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)				
	○ 現在全国最低レベルの県内大学の収容力を、H32年までに18%に向上させ、学生の進路選択の拡大を図る。				
	○ 県内私立大学の定員充足率を、H32年までに100%に向上させる。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H28事業実績		H29
			(当初)	(決算)	(当初)
	信州高等教育支援センター運営事業	直接	5,100	5,100	5,223
	信州で学ぼう! 魅力発信事業	委託補助金	0	4,986	7,284
	大学生海外インターンシップ支援事業	補助金	8,000	835	4,000
	大学・地域連携事業補助金	補助金	28,056	24,713	4,871
「高等教育コンソーシアム信州」特別会員負担金	負担金	100	100	100	
松本大学教育学部設置事業【2月補正】	補助金	0	150,000	0	
その他経費	直接	5,612	4,105	4,993	
合計		46,868	189,839	26,471	

事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越	29,618	5,050	0	項目	H26末	H27末	H28		H29目標	
		当初予算	16,715	46,868	26,471				目標	成果		達成状況
		補正予算	26,634	139,935								
		合計(A)	72,967	191,853	26,471							
	Aの財源	一般財源	27,616	186,224	21,563	県内大学の収容力	16.3% (H27.4)	16.5% (H28.4)	維持・向上	17.0%	達成	18.00%
		県債	0	0	0	県内私立大学の定員充足率	98.0% (H27.4)	101.9% (H28.4)	98.8% (H29.4)	102.70%	達成	99.20%
		国庫支出金	34,668	5,050	0							
		その他	10,683	579	4,908							
	決算額(B)	63,461	189,839									
概算人件費	職員数(人)	3.00	5.00	5.00								
	概算人件費(C)	24,828	39,570	39,570								
概算事業費(B(A)+C)	88,289	229,409	66,041									

目標に対する成果の状況	県内大学の収容力及び県内私立大学の定員充足率は、諏訪東京理科大学が、平成30年度に予定される公立化を前に大きく増加したため、上昇した。
--------------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 信州高等教育支援センターを中心に、大学改革、大学・学部等の新設支援や、産学官連携などを通して県内の大学のさらなる魅力向上を図るとともに、魅力発信事業を拡充することで、高等教育の振興を推進する。大学・地域連携事業補助金について、事業構築をし直し、より効果的な大学支援を行う。
---------------------------	---